

一般社団法人日本成人先天性心疾患学会

2020 年度第 1 回理事会 議事録

1. 開催日時：2020 年 5 月 30 日（土）10:00～11:45
2. 開催場所：東京都新宿区山吹町 358 番地 5 アカデミーセンター
※出席者は全員、web 会議システム（zoom）を利用して参加した
3. 出席者：
 - ・理事総数 33 名
 - 出席理事 31 名（代表理事を含む）：赤木禎治、檜垣高史、八尾厚史、赤阪隆史、石津智子、市川肇、伊藤浩、稲井慶、今井靖、上村秀樹、榎本淳子、大内秀雄、小川正樹、落合亮太、笠原真悟、賀藤均、齋木佳克、庄田守男、白石公、新川武史、住友直方、先崎秀明、立野滋、筒井裕之、照井克生、籾義仁、水野芳子、三谷義英、山岸敬幸、吉松淳
 - 欠席理事 3 名：池田智明、河田政明、森田紀代造
 - ・出席監事 2 名：松尾浩三、森善樹
 - ・出席顧問 3 名：市田路子、丹羽公一郎、松田暉
4. 議長：代表理事 赤木禎治
5. 現在の会員数：医師 983 名、多領域専門職 77 名、一般 30 名、名誉会員 22 名、計 1,112 名

6. 議事の経過の要領およびその結果

定刻に定款第 30 条に定める定足数を満たしていることが確認され、赤木代表理事が議長となり、開会を宣言した。議長より、議事録署名人は定款第 31 条より代表理事および出席した監事が務めることが確認された。法人化後第 1 回目の理事会であることから、審議の前に理事・監事より自己紹介がされた。web 会議システム（zoom）について、議事進行に支障がないことを確認し、審議に入った。

(1) 報告事項

報告事項 1：法人化について

財務担当の立野理事より、本年 4 月 1 日付けで一般社団法人として登記が完了した旨、報告がされた。

報告事項 2：第 22 回学術集会について

森田理事の代理として、議長より、第 22 回学術集会の開催および収支決算について報告がされた。

報告事項 3：ACHD 専門医試験準備状況

専門医制度委員会委員長の白石理事より、第 1 期 ACHD 専門医試験に向けた問題作成準備の進捗について報告がされた。

報告事項 4：ACHD 専門医修練施設年次報告登録状況

修練施設認定部会部会長の八尾理事より、専門医修練施設年次報告登録が完了した旨、報告がされた。第 1 期専門医試験受験予定者の数も同時に調査を行い、約 230 名が修練中であ

ることの報告がされた。修練施設症例登録について 2 万例を超えるデータが集まり論文文化を予定していることと、本年 9 月頃に会員全員に修練施設募集の周知を検討していることが報告された。

報告事項 5：日本循環器学会からの報告

三谷理事より COVID-19 に関する循環器関連学会の対応について報告がされた。

(2) 決議事項

決議事項 1：顧問の選出について

議長は第 1 号議案を上程し、名誉会員の市田路子、丹羽公一郎、松田暉、以上 3 名を顧問に選出することについて諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。

決議事項 2：2021 年度学術集会日程変更について

議長は第 2 号議案を上程し、2021 年度学術集会会長の檜垣理事より、資料に基づいて説明がなされた。議長が 2021 年度の学術集会を延期とし、2023 年度に檜垣理事が会長を務めることについて諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。なお、2022 年度に開催する学術集会（会長：筒井理事）の名称を第 24 回学術集会から第 23 回学術集会に変更することが確認された。

決議事項 3：今後の学会の助成金増額と積立金について

議長は第 3 号議案を上程し、財務担当の立野理事より、資料に基づいて説明がなされた。議長が学術集会に対する助成金を基本 50 万円、収支の状況に応じて最大 150 万円まで、セミナーに対する助成金を基本 20 万円、収支の状況に応じて最大 50 万円までとすること、これまでの寄付金を学術集会積立金とすることについて諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。

決議事項 4：ACHD セミナー開催方法について

議長は第 4 号議案を上程し、次回の ACHD セミナー世話人の白石理事より、セミナーをウェビナーとしてオンライン開催することについて説明がなされた。議長がウェビナー開催について諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。参加費の有無やプログラムなどは学術委員会にて検討することとなった。

決議事項 5：企業主催オンラインセミナーにおける学会共催（後援）

議長は第 5 号議案を上程し、資料に基づいて製薬企業から全国数カ所で開催するインターネットシンポジウムについて後援依頼があった旨、説明がなされた。議長が後援を承諾することについて諮ったところ、企業が主催しているセミナーなどに対して、学会が特定の企業に後援、共催することは適当でないことを理由として、欠席理事を除く反対多数で承認されなかった。

決議事項 6：学術委員会内の体制について

議長は第 6 号議案を上程し、学術委員長の稲井理事より、資料に基づいて説明がなされた。議長が学術委員会の中に下部委員会（研究委員会・教育委員会・学術集会企画委員会・YIA 選考委員会）を設置することについて諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。

(3) その他

<COVID-19 関連について>

・UCLA とオレゴンで ACHD 患者を対象とした COVID-19 のインターナショナルレジストリーが指導している。世界 70 か国が参加する予定で、現在進行中である。国内での ACHD 患者の感染例はまだ報告されていない状況だが、もし事例が出た場合は報告をお願いしたい。

(丹羽、立野、赤木)

・本学会と小児循環器学会とでそれぞれ、全国心臓病の子どもを守る会とのディスカッションを行った。患者会の HP や会報に後日その様子が掲載される予定。COVID-19 の影響で、主治医に連絡が取りにくい、という意見があった。各地で学校が再開となるが、休校中に生活が不規則になっている子供もいるので、外来で注意を促している。

(白石)

・元々の疾患について受診すべきだったが COVID-19 の影響で受診を控えたケースについても調査が出来ると良い。

(山岸)

<会員ページ (マイページ) について>

・会員個人が情報を登録・変更できるページ (マイページ) を学会 HP 上に設置し、会員専用名簿を公開できるように準備を進めたい。

(赤木)

<ウェビナーについて>

・国際学会ではウェビナーが進んでいることから、2021 年 1 月の学術集会は延期となるが、学術活動の維持の為に来年 1 月に特別企画を計画してはどうか？

(松田)

・前向きに検討したい。

(赤木)

<APSC について>

・今年の第 84 回日本循環器学会学術集会に合わせて開催を予定していたが、2022 年に延期することになった。同年にアジア・パシフィックの ACHD 会議も開催すると聞いている。(赤阪)

(4) 次回理事会日程について

議長より 2020 年度第 2 回理事会を 2021 年 1 月 16 日 (土) に開催する旨、周知がなされた。

以上をもって議事の全ての審議および報告を終了したので、議長は閉会を宣言し、解散した。

上記議事の経過の要領およびその結果を明確にするために、代表理事および出席監事は、次に署名押印する。

2020年5月30日

一般社団法人日本成人先天性心疾患学会

(署名)

(捺印)

議長 代表理事 赤木 禎治

監事 松尾 浩三

監事 森 善樹